



埼玉県議会議員

岡地まさる

県政報告

信頼と責任

2023年 夏号

岡地まさる県政事務所
桶川事務所
桶川市上日出谷42-73
TEL.048(780)2982
FAX.048(780)2983

発行 埼玉県議会自由民主党議員団

皆さまの負託に応えるため 全力で働きます！

先の統一地方選挙を通じて、私たちは県民の皆さまから様々な『声』を頂いてまいりました。この『声』をしっかりと受け止め、「誰一人取り残さない」というSDGsの理念に基づき、誰もが安心して豊かに暮らせる郷土・埼玉を築いていかなければ決意を新たにしています。

私が所属する県議会自民党議員団は総勢58名でスタートすることとなりました。県議会の過半数を占める最大会派として、その責任を重く感じているところです。また、私は今期、監査委員に就任するとともに、文教委員会及び危機管理・大規模災害対策特別委員会に所属することになりました。県議団の仲間と力を合わせ、県政の課題に全力で取り組んでまいります。

今後とも皆さまのより一層のご指導・ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い致します。



役職 監査委員
所属委員会 文教委員会／図書室委員会
危機管理・大規模災害対策特別委員会

県議会 5月臨時会・6月定例会報告

大型補正予算 約183億8千万円を議決

選挙後初となる県議会は5月23・24日に「5月臨時会」が開催され、第1号補正予算183億8,387万9千円の計上等を議決しました。また、6月19日からは「6月定例会」が開催され、「埼玉県税条例の一部を改正する条例」などを議決し7月7日に閉会しました。

5月臨時会で議決した第1号補正予算は、国の「物価高克服に向けた追加策」に対応した、エネルギー・食料品価格等の物価高騰により厳しい状況に置かれている県民及び事業者への支援策です。その概要は次の通りとなります。

- ①物価高騰の影響を受ける生活者に対する緊急支援
(46億7,877万8千円)
- ②物価高騰の影響を受ける事業者に対する緊急支援
(115億4,191万1千円)
- ③物価高騰の影響を受けにくい経営体質への転換を促す支援
(21億6,319万円)

農業者等の免税軽油の利用環境改善へ

6月定例会で議決した「埼玉県税条例の一部を改正する条例」は、主に自動車税(環境性能割)と軽油引取税の改正です。

自動車税の改正は、地方税法の一部改正に伴い、環境性能が高い自動車の普及促進を図るために、税率を決める燃費基準を段階的に引き上げるものです。軽油引取税の改正は、原油価格の高騰を受け農業者等の税負担を軽減するとともに、県への報告制度を年1回に簡素化することで、より免税軽油が利用しやすい環境となります。(詳細は下表を参照)

日本を元氣にする 施策を提案してまいります

新型コロナウイルス感染症は5類への移行という一つの節目を迎えました。今後は感染の再拡大も念頭に置きつつ、地域経済の回復と持続的発展を強く押し進め、県民の皆さまが安心して生活できる環境整備を進めなければなりません。また、加速する少子高齢化、激甚化・頻発化する自然災害など、私たちが乗り越えなければならない課題は山積しております。

私たち自民党県議団は、埼玉から日本を元氣にする施策を提案し続けてまいります。

埼玉県税条例の一部を改正する条例

条例の概要

概要

<自動車税(環境性能割)>

地方税法の一部改正に伴い、環境性能が高い自動車の普及促進を図るために、税率の基となる燃費基準の達成度合いを段階的に引き上げる。

<軽油引取税>

トラクターや掘削機など公道を走らない車両の軽油は、免税を受けることが可能。この免税軽油の使用者のうち農業者等について、軽油購入数量等の報告頻度を緩和する。

○緩和の内容(購入数量が年間3キロリットル以下の場合)

現行		改正案	
区分	報告頻度	報告頻度	
免税1年目	毎月	1年に一度	
2年目以降	1年に一度		

軽油引取税の改正について

目的

原油価格の高騰を受け、農業者等の税負担を軽減するとともに、免税軽油を利用しやすい環境を整備する。



現状・課題

- ・軽油価格 令和5年5月 141.2円/ℓ (令和3年5月比+16.4円/ℓ)
- ・免税となった1年目は購入数量等が少量でも毎月報告が必要
▷ 繁閑期がある農業者等にとって事務負担が重い

県内の免税軽油使用者 農業従事者の約2%



改正による効果

- ・利用者にとって
 - ・免税による税負担の軽減
1ℓにつき32.1円の軽減
 - ・免税手続に必要な事務負担の軽減
毎月から年1回の報告に軽減



地元・桶川市の発展目指し 東奔西走

第26回桶川べに花まつり

第26回桶川べに花まつりが、6月17日、18日と桶川城山公園をメイン会場に開催されました。今年はちょうど満開の時期と重なり、生産組合の皆さんが丹精込めたべに花を堪能することができました。

ステージでの式典では、桶川市と山形県白鷹町との「紅花友好都市協定調印式」や「おけがわ魅力発信大使」の任命式が行われました。



日本ALS協会埼玉県支部総会

第22回日本ALS（筋萎縮性側索硬化症）協会埼玉県支部総会が6月11日に、大宮ソニックスティ「国際会議室」にて開催されました。

ALS患者の療養環境は未だ多くの課題を抱えております。東京都立神経病院脳神経内科医長 木田耕太先生の講演は、ALS患者の現実を知ることができ、たいへん参考になりました。



社会保険労務士会通常総会

埼玉県社会保険労務士会通常総会が6月8日に、ホテルブリランテ武藏野にて開催されました。3年ぶりに懇親会も開催され、新型コロナ5類移行を受け、社会活動が活発化することは喜ばしいことだと思います。油断せずに日常を過ごしていただきたいと思います。



春の全国交通安全運動キャンペーン

春の全国交通安全運動（5月11日～20日）の実施に伴い、5月12日に桶川駅（東口、西口、東西連絡通路）でキャンペーン活動が行われました。

今年の4月から道路交通法が改正され、自転車を利用する方のヘルメット着用が努力義務となりました。ご自身の命を守るために、ヘルメットの着用等を訴えさせて頂きました。



おけがわ春のふれあいフェスタ

おけがわ春のふれあいフェスタが5月14日に、桶川駅西口公園をメイン会場として開催されました。

開会式では子ども・子育て支援功労者関係、桶川市社会福祉協議会への寄付関係の団体に感謝状が手渡されました。また56団体が参加し、模擬店・売店だけでなく、アイマスクや車椅子等の体験ができ、ふれあいながら楽しめる催しが行われていました。



市スポーツ協会 川田谷支部総会

桶川市スポーツ協会川田谷支部総会が4月3日に開催され、市長、議長とともに出席いたしました。

川田谷支部は60年続く朝のかけ足運動をはじめ、地域のスポーツ振興にご尽力されています。



モルック研修会

桶川市レクリエーション協会主催のモルック研修会が5月28日に、桶川西口公園にて開催されました。

モルックとは、プレーヤーが木製の棒（モルック）を投げて木製のピン（スキットル）を倒し、倒れた本数とそこに書かれた数字により得点を得る、新しい軽スポーツです。たいへん楽しませて頂きました。



下日出谷東区画整理組合竣工記念碑除幕式 及び竣工記念式典

下日出谷東特定土地区画整理組合竣工記念碑除幕式及び竣工記念式典が3月25日に開催され、30年という長い間役員を務められた役員の皆さんに感謝状が手渡されました。

皆さまが丁寧に作り上げた街は、将来にわたり多くの地域住民の愛着心を育んでいくこと思います。



岡地まさる 県政事務所

〒363-0026 埼玉県桶川市上日出谷42-73
Tel. 048-780-2982 / Fax. 048-780-2983

ポスティング作業など、お手伝いいただける方を募集しています。詳しくは岡地まさる県政事務所へお問い合わせください。